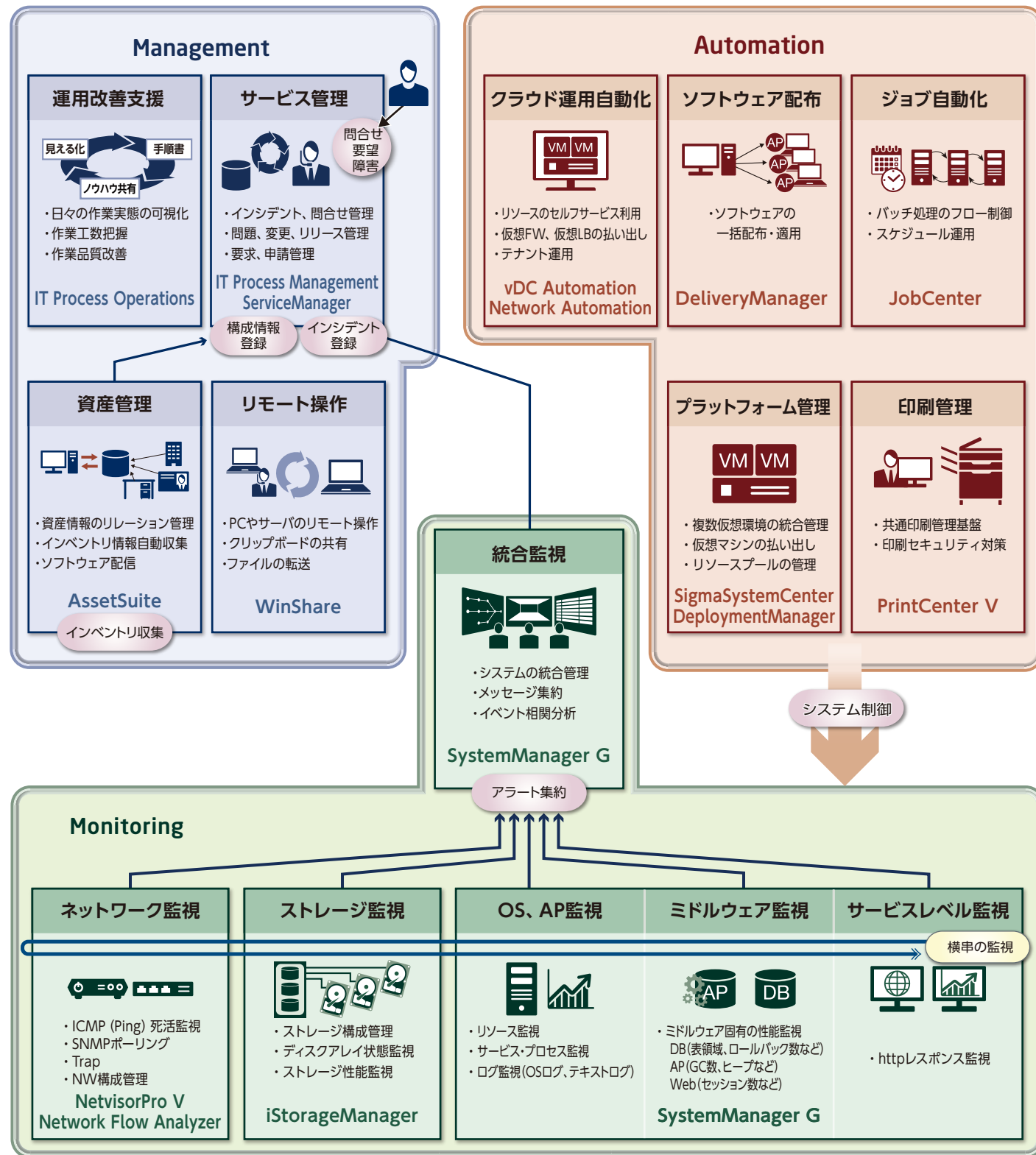


WebSAMソリューションマップ



お問い合わせは、下記へ

NEC ファーストコンタクトセンター
ソフトウェアお問い合わせ窓口

TEL: 0120-5800-72

【受付時間】9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・NEC所定の休日を除く)

<http://jpn.nec.com/websam/>

●本カタログ中のシステム名、製品名、会社名、およびロゴは各社の商標または登録商標です。
 ●本カタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
 ●本製品の輸出(非居住者への提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
 ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きに当たり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

統合運用管理ソフトウェア

WebSAM



多様なICTシステムの運用をシンプルにして お客様のビジネスイノベーションを強力にサポートします。

刻々と変化するビジネス環境において、ビジネス基盤であるICTシステムは変化に柔軟かつ迅速に対応し、ビジネスに貢献することが求められています。

これを実現するために、パブリッククラウドやプライベートクラウド、オンプレミスシステムを適材適所で組み合わせて利用する「ハイブリッドクラウド」の導入が進められています。

ビジネスの変化にあわせてICTシステムを迅速に構築・運用することの重要性はますます高まっています。

WebSAMでは、お客様の様々な課題に応えるため、「マネージメント」「オートメーション」「モニタリング」の3つのカテゴリで製品をラインナップしています。

WebSAM

Management

継続した運用の改善

- サービス管理
- 運用改善支援
- 資産管理
- リモート操作
- ID管理

Automation

効率化・品質向上

- ジョブ自動化
- ソフトウェア配布
- 印刷管理
- プラットフォーム管理
- クラウド運用自動化
- バックアップ

Monitoring

健全性の維持

- 統合監視
- ネットワーク監視
- ストレージ監視

Management

管理プロセス強化による継続した運用の改善

サービスレベルを維持し、継続的にサービス品質向上を図りたい。〔サービス管理〕

システム運用で起こる日々の事象をITILに基づき管理し、運用の効率化と品質向上を実現します。

対応時間の短縮

入力ミスや負荷を軽減するシンプルな画面、関係者への自動お知らせ通知により、1件あたりの対応時間を短縮することができます。

サービス品質の向上

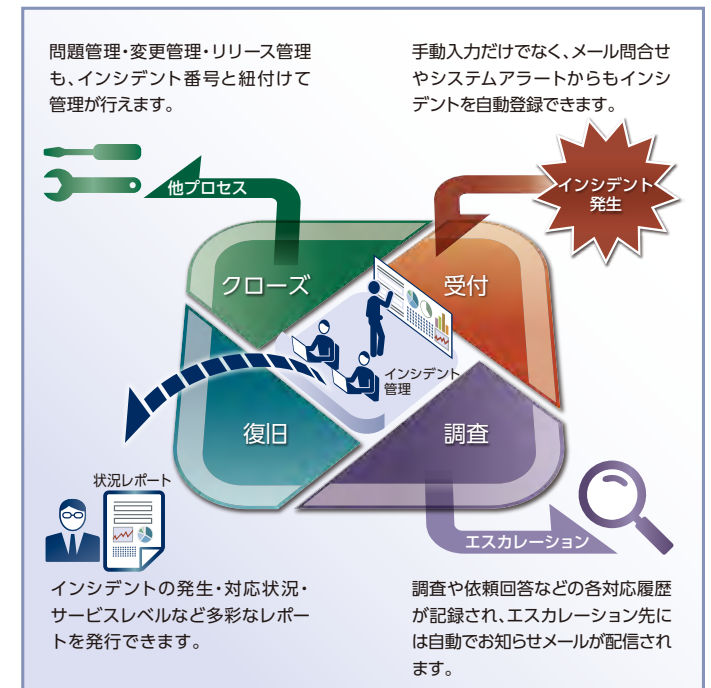
サービス提供状況の見える化により対応遅延を防ぎます。また、各種レポートにより継続的なサービス改善のサイクルを回すことができます。

属人化の排除

対応プロセスの定型化やノウハウの共有により、担当者の習熟度に依存しないサービスを提供することができます。

導入効果

- 情報の一元化、ペーパーレス化などを通じてITサービス業務の改善・効率化を実現
- サポートサービスの平準化と高品質化を実現
- 他システム連携によるITサービスの統合化が可能



今のシステム運用を何とかしたい。〔運用改善支援〕

「見える化」と「実行できる手順書」により、継続的な運用改善の仕組みを作ります。

作業の記録

簡単な操作により、「いつ・誰が・何の作業を行っているか」を記録します。作業時間だけでなく、操作量や実際の画面キャプチャなども自動で採取します。記録は作業報告書の作成や作業証跡としても活用できます。

作業実態の把握

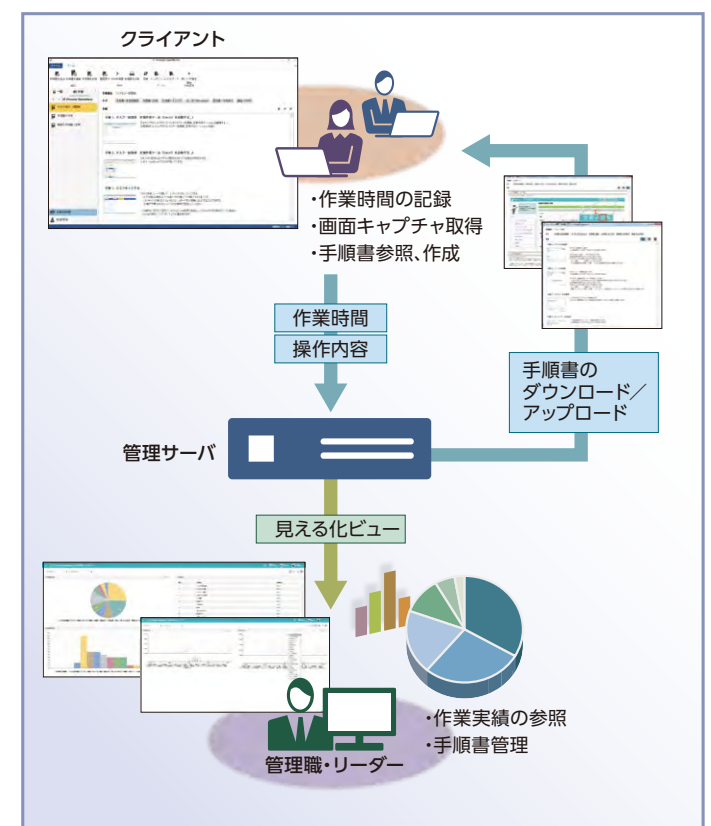
指定した期間内での作業時間が多い作業や回数の多い作業のランキングや、人により作業時間にバラつきのある作業、作業時間の遷移、要員の稼働状況など、様々な角度から、今の作業実態が見える化します。

作業時間の短縮

自動実行ボタン付きの手順書「実行できる手順書」を作成・共有します。手順や結果を確認しながら、ボタンクリックで作業の自動実行が行え、安心な自動化を実現します。自動画面キャプチャと実行記録により作業エビデンスも簡単に作成でき、作業時間の大幅短縮とともに、作業品質も向上します。

導入効果

- 各手順の実施記録や自動画面キャプチャ採取により、作業ミス&漏れを防止
- 「実行できる手順書」により、オペミス撲滅&作業時間大幅短縮
- 手順書の一元管理&版管理により、手順書を見ながらの作業の定着&品質向上。



企業の膨大な資産情報の管理を効率化し、コンプライアンスを徹底させたい。〔資産管理〕

あらゆる資産情報を一元管理し、IT機器と各種情報(使用者、設置場所、契約情報など)を紐付けて正確に把握することで、統制強化と管理コストの削減を実現します。

全社のあらゆる資産情報を紐付けて一元管理

お客様の環境にあわせた方法で資産情報を収集し一元管理。IT機器にソフトウェアライセンスやリース契約情報だけでなく、プロジェクト名や固有ID等のユーザ個別にカスタマイズした情報を紐付けて管理することで、資産情報を正確に把握し管理コストを削減することができます。

不正使用や期限切れ等のリスクを検知・通報

柔軟な検索機能を活用して、膨大な資産情報から、資産移動、リース／レンタル終了間近、ソフトライセンス数不足、不正ソフト利用等の情報を容易に検知できます。

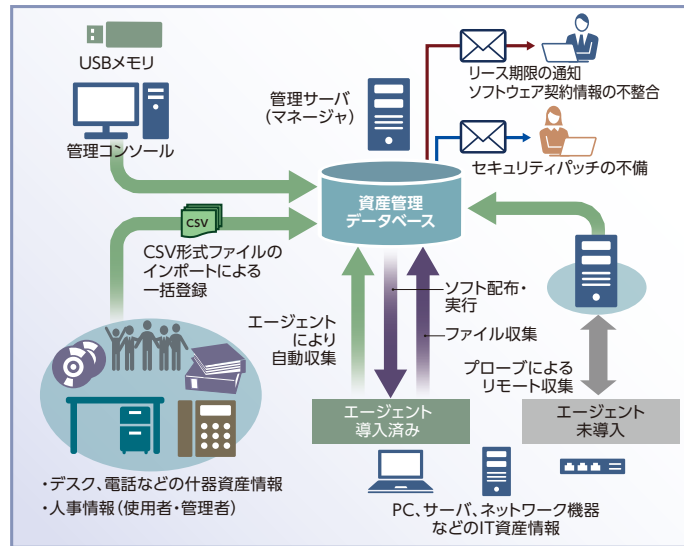
また、メール通報を利用して管理者に通知することでコンプライアンスの徹底を支援します。

ライフサイクルにあわせた適切な資産管理を実現

管理項目にEOS／EOL*を追加することで、ライフサイクルを考慮した資産管理を実現でき、さらに余剰資産の削減や効率的なIT設備への投資計画策定が可能になります。

*: End of Sales:販売の終了、End of Life:サポートの終了

収集した資産情報を紐付けて一元管理



※プローブ: ネットワーク上の他のIT機器の資産情報を収集してマネージャに送信するソフトウェア

導入効果

- 資産情報の自動収集／一元管理により、管理コストを削減
- 不正使用を見える化し、コンプライアンスを徹底
- ライフサイクルを考慮した資産管理でIT設備投資の効率化が可能

印刷運用業務を効率化し、印刷出力の統合的な監視・管理を行いたい。〔印刷管理〕

ベンダ・機種を問わずプリンタ・複合機への印刷運用業務を統合的に監視・制御し、ドキュメントの効率的かつ確実な印刷出力を支援します。

大量印刷への高信頼な出力管理

大量の業務帳票などの確実な印刷出力を実現するため、プリンタ機器の障害監視や印刷失敗時の再印刷処理、印刷ジョブの出力機器変更などをはじめとした各種機能を提供します。

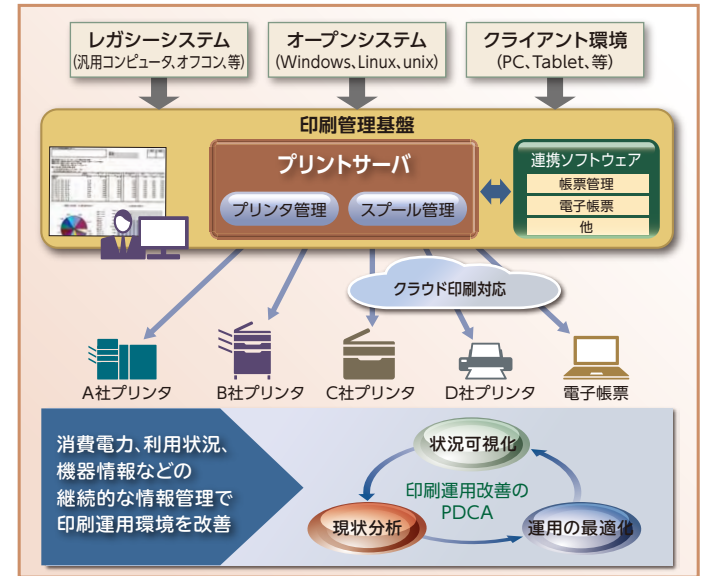
上位のプラットフォームやアプリケーションに依存しない、共通印刷管理基盤の汎用プリントサーバとして利用でき、クラウド環境に対応した業務印刷運用も支援します。

印刷セキュリティ対策を支援

印刷出力時のユーザ名・日時・文書名などの詳細な履歴情報を採取して一元管理し、透かし印刷機能や印刷イメージの証跡保存などにより、重要文書等の不用意な印刷を抑止し、印刷物による情報漏えい事故の発生を防ぎます。

ベンダ・機種を問わずに全社の印刷運用を統合管理

プリンタ・複合機の消費電力、使用状況などの利用状況と、機器の状態、トナー残量などの構成情報を自動的に採取して一元管理します。これにより、印刷運用業務の負荷が軽減でき、コスト削減するための機器の再配置(余剰機器の撤去、複合機への集約など)や印刷業務の見直しを容易に行うことができます。



導入効果

- 印刷障害の早期検出・復旧のための管理者工数を削減
- 印刷運用管理を効率化し、業務システムの可用性を向上
- 印刷セキュリティの強化

Automation

自動化による効率化・品質向上

定型業務やバッチ処理を効率的かつ確実に行いたい。〔ジョブ自動化〕

定型業務やバッチ処理を柔軟なスケジュールにあわせて自動実行することで、安心かつ効率的な業務運用を実現します。

複雑な業務フローをスケジュールに従い自動実行

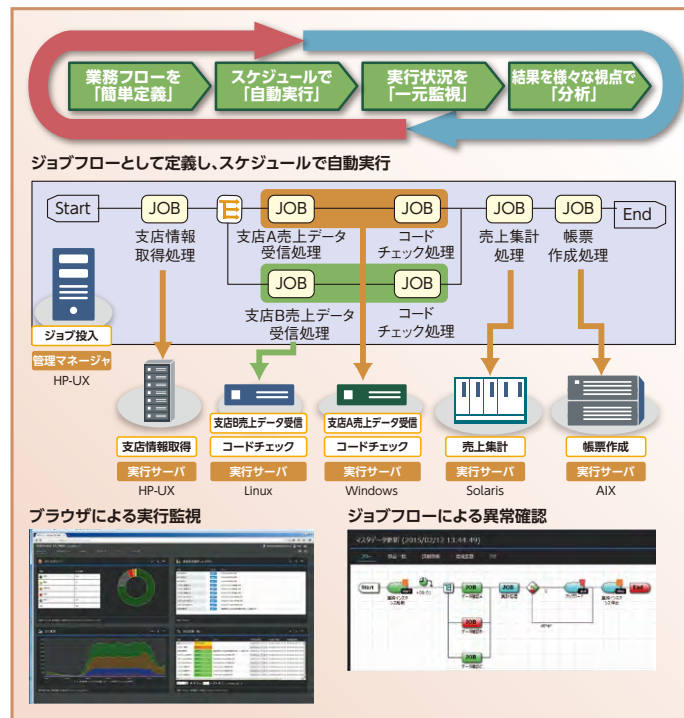
業務(ジョブ)の流れをフロー図に描くようにGUIで定義可能。「ファイル生成を待ち合わせて実行」などの複雑なジョブフローも豊富な制御部品を使って簡単に作成できます。また、自動化するためのスケジュールも営業日や月末など、柔軟に設定することができます。

ジョブの実行状況を一元管理

ジョブの実行状況(実行中、正常／異常終了、予定)を色別の一覧表示で一目で把握可能です。エラー発生時も、一覧画面で再実行などの対処が迅速に行えます。また、予想実行時間と比較した監視により、ジョブ実行の遅延なども検知できます。

導入効果

- 業務の作り込み工数を減らし、生産性を向上
- 人手による手順ミスや実行漏れを抑止
- 実行エラーの早期発見・早期対処が可能



混在する仮想環境を統合管理して、ICTリソースを効率的に有効活用したい。〔プラットフォーム管理〕

物理・仮想サーバ、ネットワーク、ストレージなどのICTリソースを統合管理し、障害やシステムの負荷状況に応じてICTリソースの最適化を自律運用で実現します。サーバのシステム領域全体のバックアップと復元、システムのイメージングと展開など、リソース管理の基盤となる機能を単独で使用することも可能です。

リソース最適化

物理・仮想の混在環境の一元管理

物理環境と、VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、Red Hat KVMが混在する仮想環境を一元管理。1つのコンソールから同一の操作方法で運用できます。

障害からの自動復旧

物理サーバの障害時には、予備サーバで代替サーバを構築し、迅速に業務を再開。仮想環境では、ハードウェアの障害予兆を検出して、仮想マシンを他サーバに移動し、業務停止を回避します。

仮想システムのリソース利用状況見える化

仮想システムを構成するCPU、メモリ、ディスクなどのリソースをリソースプールとしてシンプルに管理。リソースプール、仮想サーバ、仮想マシンの稼働状況や構成情報を分かりやすいレポートとして出力します。

OSリカバリ・展開

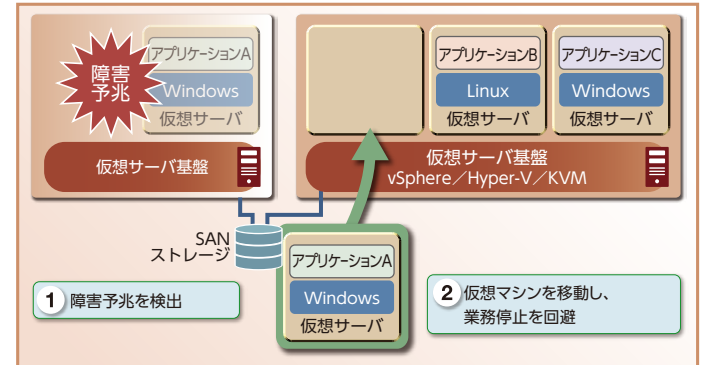
運用に欠かせないバックアップ・リストア

対象マシンのハードディスクをまるごとイメージファイルとしてネットワーク経由でバックアップします。万一の障害時には、このバックアップイメージをリストアすることで、迅速にシステム環境の復旧が行えます。

ソフトウェア一括配信

OS やアプリケーションのインストール、パッチ適用等を一括で実施できます。

仮想環境の可用性を向上



見える化による管理性の向上



導入効果

- 混在する物理／仮想環境の一元管理により、運用負担を軽減
- 自律復旧機能により、低コストで可用性を向上
- リソース見える化により、リソースの有効活用、システム安定稼働を支援

高信頼なクラウド環境のスピーディな構築と効率的な運用を実現したい。〔クラウド運用自動化〕

企業が所有するICTインフラを利用して、高信頼かつ運用性と利便性に優れたプライベートクラウド環境の迅速な立ち上げを支援します。

クラウドシステムのライフサイクル全般を支援

基幹システム利用にも耐えうる高信頼なクラウドシステムの実現に向けて、リソース設計・計画から調達・構築、運用・保守、廃棄まで、ライフサイクル全般にわたって必要な管理プロセスをサポートします。

ポータル利用によりスピーディな立ち上げが可能

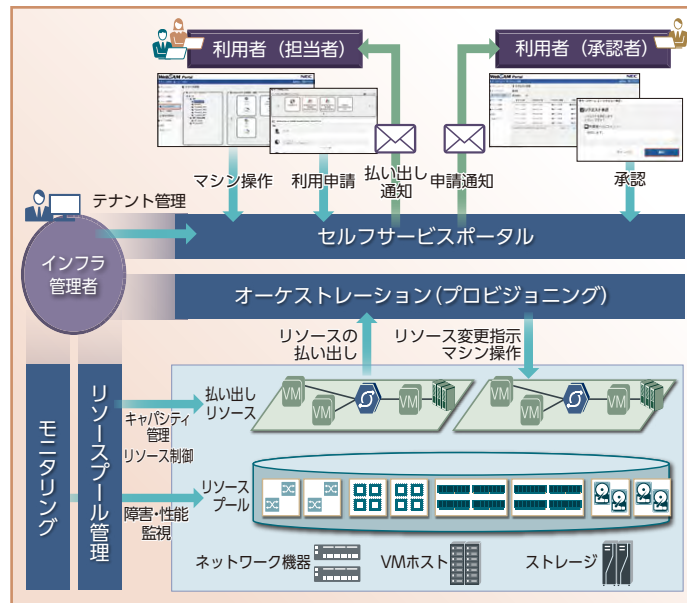
企業内に集約・共有化したICTリソースを、セルフサービスで利用するために必要な機能を実装したポータルを標準で提供。管理者／利用者と役割に応じて必要な機能を実装でき、画面のカスタマイズも可能です。

ICTリソースを一元管理し、運用の自動化・効率化を実現

ICTインフラを共有リソースとして一元的にプール管理することで運用を標準化でき、利用状況の見える化によりICTインフラを有効活用できます。構築プロセスを自動化するために必要な、検証済みのプロビジョニングシナリオ（設定手順）を標準で提供します。

システムのダウンタイムを最小化し、高可用性の実現を支援

仮想マシン上に構築した業務システムも含めて、クラウドシステム全体を統合監視する機能を提供。障害の検知や影響範囲の特定、対処の自動化など、多様な監視機能によりダウンタイムを最小化し、基幹システムの利用に求められる高可用性の実現を支援します。



● 導入効果

- ・新しいビジネスモデルのためのインフラ確保、変更の時間の短縮
- ・自動化で定型の運用作業を軽減、重要テーマに取り組む時間を確保
- ・基幹システムに耐えられる信頼性を確保、ICT基盤統合を促進

マルチベンダネットワークを効率的に管理したい。〔ネットワーク監視〕

ネットワークの構成・障害・性能の管理からメンテナンス・障害分析などネットワーク管理に係わる業務をトータルにサポートし、ネットワークの安定稼働と運用の効率化を実現します。

複雑なネットワークも一目で把握

小規模から大規模まで、マルチベンダネットワークをビジュアルに一元管理することで、機器構成の容易な把握が可能になります。これにより、万一の機器故障、異常トラフィックなど、さまざまな障害にも迅速に対応できます。

コンフィグ・ソフトウェア管理の効率化

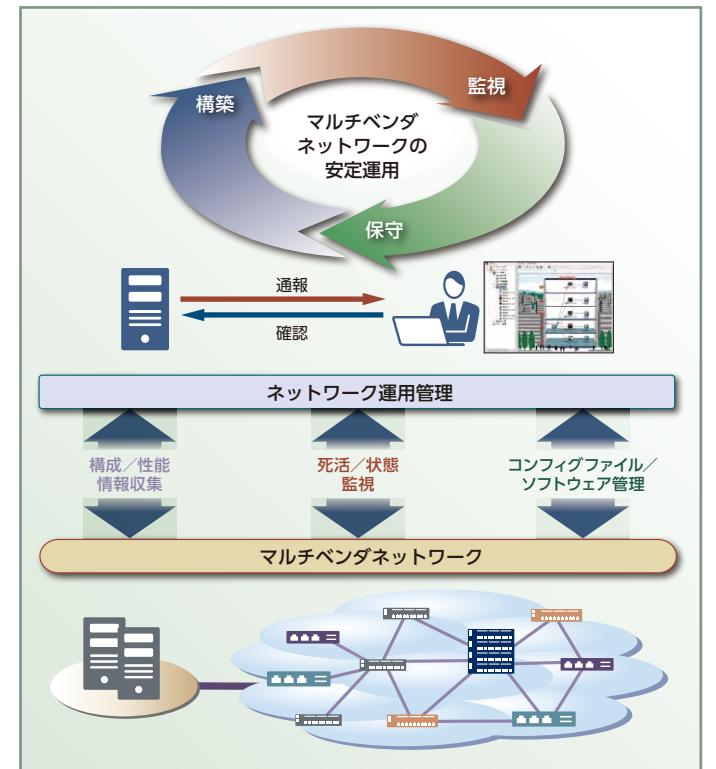
マルチベンダネットワーク機器のコンフィグファイルのバックアップや世代管理、ソフトウェアの更新管理などをリモートで制御でき、機器のメンテナンス作業の効率化と時間短縮を実現します。

障害の検出から対処までをサポート

ネットワーク機器から送られてきたシステムログ（SYSLOG）を自動で分析し、障害の内容と対処方法を表示します。原因究明までの時間を短縮し、迅速な障害対処を支援します。

● 導入効果

- ・マルチベンダネットワークの管理効率化
- ・ネットワーク障害の検知と迅速な障害復旧



Monitoring

監視によるシステム健全性の維持

システム全体を統合監視し、業務の安定稼働と監視運用の効率化を図りたい。〔統合監視〕

オンプレミスからクラウドまでをオールインワンで統合監視し、多様なOSやアプリケーションを含む業務システムの安定稼働と効率的な運用を、「検知」「可視化」「対処」で支援します。

迅速な障害検知

障害の発生を画面に通知だけでなく、メールや警告灯での通報をすることで障害対処への初動を加速します。

障害箇所の見える化

検知した障害をリアルタイムに監視画面上に表示します。障害の状態・重要度を一目瞭然と認識し、復旧までの時間を短縮します。

適切な対処方法のナビゲートと自動対処

発生した障害に対する対処方法をナビゲートし、スムーズな対処を支援します。また、障害検知をトリガとした対処フローの自動実行により、管理者不在時でもダウンタイムを最小化します。

● 導入効果

- ・一元管理、直観的な操作性により監視運用の負担を軽減
- ・障害検知から復旧までの時間を短縮



ネットワークの利用状況を詳細に把握したい。〔ネットワーク監視〕

従来のSNMPでは見ることができなかったトラフィックの内訳をNetFlow／sFlowで可視化し、ネットワークの安定運用をサポートします。

ネットワーク利用状況を把握

どのようなアプリケーションや、どこからどこ宛てのトラフィックが多いか、ネットワークフローを可視化することで簡単に把握できます。

詳細分析の効率化

見たい情報のみ表示することで、トラフィック状況を迅速に把握でき、キャパシティプランニングや障害調査を効率化できます。

運用者視点での可視化

IPアドレス範囲を拠点／部門名、IPアドレスとポート番号を任意のアプリケーション名に定義し、運用者視点での可視化ができます。

● 導入効果

- ・ネットワークの負荷要因分析を効率化
- ・拠点や部門単位でのネットワーク傾向分析に活用

